### 第 158 号

平成20年8月1日

編集・発行 集委員会 電話(235)7054 甲府市議会



水源林植樹の集い

### 新しい議会構成が決まる 議長に中込氏、副議長に清水(保)氏

ご意見・ご要望が、

主な内容・ページ

化に努めてまいる所存であります。

当市議会のさらなる発展を願い、

市政に反映されますよう議論を尽くしる発展を願い、引き続き市民の皆様の

今後もより一層のご支援をお願い

す重要となっており、

クトⅡ(セカンドステージ)」の推進を図っております。 の思いを込めた、新政策プラン「^わ^の都・こうふプロジェ

**『『でこよっており、今後さらなる議会機能の強化と活性このような中、甲府市議会が果たすべき役割は、ますま** 

今後さらなる議会機能の強化と活

皆様との「参画と協働」による市政運営が求められており、

昨今、さまざまな行政課題に取り組むにあたり、

身に余る光栄であり、その責務の重大さを痛感していると 代甲府市議会議長、第百代副議長に選任されました。誠に

ころであります。

私達両名は、

市議会六月定例会において名誉ある第九

甲府市議会副議長

清水

保

本市では現在、宮島市長の「市民が主役のまちづくり」へ

就任あいさつ

甲府市議会議長

中込

新しい議会構成/議員表彰 請願·陳情審查結果 市政質問 常任委員会の構成 六月定例会の動き/日程 /質問要旨一 十九八

# 八月定例会の動き

### 六月九日 (月)

げました。 で犠牲になられた方々へ黙とうを捧 初日は、冒頭、中国・四川大地震

た。

このあと会議に入り、まず諸報告
とのあと会議に入り、まず諸報告

### 六月十二日 (木)

てこ、なで、かでので長貢引に画等市の考えをただしました。介護保険の原状と次期高齢者支援計から始まり、後期高齢者医療制度、質問日初日は、共産党の代表質問

た。 適正規模化等市の考えをただしまし定に伴う市民意見の反映、小学校の定に伴う市民意見の反映、小学校の次に、政友クラブの代表質問が

われ、本市の将来展望と行政運営、次に、新政クラブの代表質問が行

ました。市税の徴収対策等市の考えをただし

ました。
ミングライツ)等市の考えをただし
寄附条例の制定、施設の命名権(ネー)

### 六月十三日(金)

えをただしました。 復割と医療制度改革の影響等市の考 制度の問題点、国民健康保険制度の 表質問から始まり、後期高齢者医療 大変によっている。

ました。
ました。
この日の二人目から一般質問に入まの大力の方針等市の考えをただしい、政課後児童クラブ、遊亀問を行い、放課後児童クラブ、遊亀の域の校の植裁、また、耐震改修の大力をである。

### 六月十六日 (月)

支援、昇仙峡の活性化等市の考えを策、また、新エネルギーシステムの意、子供たちが夢と希望を持てる施意、子供たちが夢と希望を持てる施質の議員が一般質問を行い、新庁質問日最終日は、新政クラブから

ただしました。

その後、

追加

提案され

た議会選

た。の取り組み等市の考えをただしましの取り組み等市の考えをただしまし制度の周知、女性総合相談室の今後、次に、公明党が、後期高齢者医療

### 六月十七日(火)

いて、詳細に調査を行いました。案・請願等の審査及び所管事項につ客では、付託議

### 六月十八日(水)

案のとおり可決されました。 案のとおり可決されました。 と、採決が行われ、「地方切あった後、採決が行われ、「地方切あった後、採決が行われ、「地方切あった。他の議案については、当局所のは、他の議案については、当局が

ついて決定しました。のあった閉会中継続審査及び調査にのあった閉会中継続審査及び調査にがに、議員提案された意見書三件

休憩後、

正副議長の辞職に伴う選

長を互選し、新たな議会構成を行い委員の選任を行い、それぞれ正副議各常任委員会及び議会運営委員会のとして、条例により設置されているとして、条例によける内部審査機関挙を行いました。

出監査委員の選任の同意、甲府地区本、農業委員会委員の推薦、議員派が、六月定例会を閉会しました。

## 六月定例会日程

### 六月

九日川開会、提案理由の

十一日水 会 議案調査のため休

十三日金 市政一般質問 十二日(木) 本会議、質疑及び

十五日(日) 休会

本会議、質疑

十六日/月 市政一般質問 各本会議、質疑及び

十七日火 各常任委員会



## 後期高齢者医療制度について



石原希美

【問】後期高齢者医療制度の全貌がは、問】後期高齢者医療制度の全貌がは、これでも、多くの市民の皆さんが署名を行っています。全国において中止を求める署名が、五百万筆集まり、本市でも、多くの市民の皆さんが署名を行っています。と
の市民の皆さんが署名を行っています。
かっ

て、今こそ市長は一自治体の長としなる声が上がっています。山梨県医師会長も七十五歳以上を差別した診療報酬改定に懸念を示しています。師会長も七十五歳以上を差別した診断会長が上がっています。山梨県医める声が上がっています。山梨県医外にじる後期高齢者医療制度に対した。

す。 て廃止の声を上げるべきだと考えま

では、 続けるべきではありませんか。 全額自己負担となりました。 康保険人間ドックの対象外となり、 康保険ではなくなったため、 ています。 七十五歳以上の人間ドックの助成を 七十五歳以上の方たちは国民健 期 独自の助成を従来どおり続け 高 齢 本市も、 者 医 療 制 これまで通 度 0) 創 。甲斐市 国民健 設によ ŋ

[答]後期高齢者健康診査の法定検 査項目は、前年度の検査結果により 医師の判断で行う五項目と合わせ、 十四項目であるのに対し、本市が 行う後期高齢者健康診査の検査項目 は、介護保険の生活機能評価五項目 と合わせ二十三項目となっており、 と合わせ二十三項目となっており、 を高わせ二十三項目となっており、 と合わせ二十三項目となっており、 と合わせ二十三項目となっており、 と合わせ二十三項目となっており、 と合わせ二十三項目となっており、 と合わせ二十三項目となっており、 と合わせ二十三項目となっており、

齢者健康診査の きましたが、 民健康ガイド」などでお知らせして これまでにも広報誌並びに 千八百円で受けることができます。 診されますと、人間ドックとほぼ なる市民周知に努めていきます。 を全自治会に組回覧するなど、 同じ内容の検査項目を自己負担額三 h この後期高齢者健康診査と胃 など、各種のがん検診をすべて受 後期高齢者健康診査については、 改めて七月に お知らせ」 のチラシ 「後期高 「甲府市 が

# こだと考えま 温室効果ガス削減対策について



政友クラブ **清水** 

保

学習の推進、 果ガス削減が重要でありますが、 めていくべきであると考えます。 連携等により、 る取り組みの促進、 事業活動への転換など、 ついても、環境に配慮した生活様式 市における温暖化防止の取り組みに 問 地球温 市民・事業者及び市の 暖化対策には、 幅広い事業展開を進 環境教育・環境 各主体によ 温室 効

温室効果ガス削減のためには、市 にて、市民や事業者の意識の高揚と にて、市民や事業者の意識の高揚と にて、市民や事業者の意識の高揚と でありますが、今後のこの協議会の でありますが、今後のこの協議会の でありますが、今後のこの協議会の 取り組みの見通し、また、「新甲府 市地球温暖化対策推進計画」の施策 取り組みの見通し、また、「新甲府 取り組みの見通し、また、「新甲府 取り組みの見通し、また、「新甲府 取り組みの見通し、また、「新甲府 取り組みの見通し、また、「新甲府 本記記暖化防止に向けた施策方針

下。 【答】本市では、平成十八年八月に「新 大スの九割以上を占める、二酸化炭 がスの九割以上を占める、二酸化炭 策定し、市内から排出する温室効果 では、平成十八年八月に「新

践しています。

こうした中、昨年三月に市民、事業者及び行政の協働により設立された「甲府市地球温暖化対策地域協議を」では、市民自らが地域で実践で会」では、市民自らが地域で実践で会」では、市民自らが地域で実践で

迎え、市民の目に見える具体的 取り組んでいきます。 を重点項目として地球温暖 意識の高揚として「マイバッグ・マ くり運動、ごみ削減やもったいな ド防止に有効な「緑のカーテン」づ 動として、 動及びCO゚排出量をチェックする イはし・マイボトル」持ち歩き運 環境家計簿」の普及拡大の三本柱 特に今年度は、 省エネやヒートアイラン 活動開始 二年 な活 目



あります。

政府では、住宅の耐震化

打ち出しています。

二十六年までに九十%にすることを 率を平成十五年の七十五%から平成

# 木造住宅の耐震化対策について



新政クラブ

心のためには、 されていますので、 大きな被害を受ける危険性があると 地震が起きた場合、 も八十二%とされています。六弱の 地震が起こる確率は、本市において では、三十年以内に震度六弱以上の なるべく早く診断を受けていた 補強工事をしてもらうことに 政府の地震調 行政と市民が協力し 市民の安全、安 査委員会の公表 倒壊もしくは、 正富

れているのでしょうか。 震化の促進計画はどのように にあるのでしょうか。また、 造住宅耐震化率は、どのような状況 を図っていますが、現在、 見直しなど、 造住宅耐震化支援事業の助成制度の |実施計画事業に位置付けられ、 本市では、 耐震改修工事への促進 第五次甲府市総合計 本市の木 住宅耐 計 演さ 木 画

六十九:1%となっています。 木造住宅の耐震化を促進するため 市内の木造住宅の耐 九年度末におい 震 て約 化 率

> 度は、「 すので、広報相談活動に加え、本年 体となった取り組みが必要でありま ?の説明会を実施しています。 は、 今まで以上に地域と行政 甲府市耐震改修促進計 画

制を築いていきます。 事務所協会や建設業協会等と協力体 相談ルートの確立を目指して、設計 震相談が行えるよう、専門家による 今後は市民が、気軽に安心して耐

進 す。 玉 害と経済的被害を半減させるという 値については、「甲府市耐震改修促 九十%に引き上げることとしてい 末までに、 「の方針に基づき、平成二十七年度 計 なお、木造住宅の耐震化率の目 画」の中で、地震による人的被 現在の六十九:一%から ま

模地震に備えて、 11 今後も、 きます。 発生が危惧されます大規 耐震化を推進して



### 介護ボランティア制度 に制度の 7



公明党 中山 善雄

す。 支払いに充てることができる制度で 援のボランティアをすることでポイ ランティア・ポイント制度」は、 四月にスタートした「介護支援ボ ントをため、 六十五歳以上の元気な高齢者等が支 問 東京都世 自らの介護保険料の 田谷区において今年

との二つの利点があります。 的に介護保険料負担を軽減 がら自身の介護につながる」、 参加することで、「地域貢献をしな 補助」などですが、 け」、「話し相手」、 除などの ボランティアの 軽作業」、 「外出散歩の介護 活動内容は、「掃 「配ぜんや後片付 ボランティアに できる」 「実質

ださい ら生きがいを持って暮らせる」、「高 案しますが、 支援ボランテイア制度」の導入を提 する」など、メリットの多い 齢者同士の連帯で閉じこもりを防止 「元気な高齢者が地域を支えなが 本市の見解をお示しく 「介護

福祉施策を積極的に りや各種介護予防事業など、 【答】本市で 高齢者の健 展開するととも 高齢者 は康づく

> 学生の登下校時の見守りや、 くの皆様によるボランティ 高齢者自らがボランティアとして小 推進されています。 困難な方への配食サービスなど、多 ロン活動、 高齢者の閉じこもり予防のためのサ ボランティア活動については、 さらには、 食事づくりが ア活動 要援護

研究を行っていきます。 との関係を検証し、 ますので、 参加することによる高齢者の生き 識が高まることや、 ボランティア制度については、 料の支払いに充てるなどの いづくりにも繋がるものと考えら ケアに不可欠な住民参加に関する認 し、これに対して、 支援を行った場合にポイントを付 高齢者がボランティアとして介え 既存のボランティア活 自らの介護保証 社会貢献活動 先進事例 介護支援 地域 険

### 後期高齢者医療制度 いて



市民クラブ 出出

厚

伴い、多くの高齢者 表しています。 にないほどの不安・戸惑い・ せがあり、 問 後期高齢者医療制度の発足に 高齢者の方々は、 からの問い合わ 今まで 怒りを

問題とすべ 、きは 後期高齢

ることです。 ることです。 のお荷物、公費の無駄」と考えていた。 方です。今まで日本社会にあった、 方です。今まで日本社会にあった、 方です。今まで日本社会にあった、

医療内容にも大きな問題があります。七十五歳以上からは、同じ病気であっても、検査、治療や入院に差別が行われ、長期の療養入院を実質別が行われ、長期の療養入院を実質上認めない医療内容です。これには上部めない医療大変です。これには上がりな医療」が制度化されています。

す。 したか、基本的な見解をお聞きしまに考え、どのように対応されてきま 市長は、この医療制度をどのよう

【答】後期高齢者医療制度について とが見込まれる中で、国民皆保険の もと、現役世代と高齢世代との間の もと、現役世代と高齢世代との間の もと、現役世代と高齢世代との間の していくために創設された制度を実現 していくために創設された制度であ

広報誌への掲載などにより、制度の新たな制度に不安を招かないよう、け、対象となる高齢者の皆さんが、本市では、制度の円滑な実施に向

対応に努めてきました。合わせなどにも丁寧でわかりやすいの説明会や、多くの市民からの問い周知を図りながら、地域に出向いて

0)

危険もあわせて非常に心配です。

図っていきたいと考えています。 醸成による制度への理解をなお一層 策の推進に努めるとともに、地域に なける支え合いや、相互扶助の意識 策の推進に努めるとともに、地域に をがあるとともに、地域に がなど、高齢者の生涯を通じた健



## 放課後児童クラブについて



原田 洋二

すが、 は、 は、 没したとの話もあり、 徒 後児童クラブがない東小学校の生徒 れています。 に応えて児童館等においても実施さ 施されていますが、利用者のニーズ 【問】本市の「放課後児童クラブ」 朝気児童館に通うことになりま 学校敷地内への設置を基本に実 います。 児童館までの道のりが長い生 例えば、学校内に放課 つい最近も変質者が出 交通事故など

います。

ジーの設置が一番好ましいと考えて学校の敷地内への「放課後児童クラーを会・安心な子供の居場所として、

ださい。

が関連についてのご所見をお示しくが、ますので、待機児童を含め、児童クラブの入所状況と合わせて、学歴いますので、待機児童を含め、児の設置についてのごが見をあったとが、場が出まがの場が、「放課後児童ク

(答)放課後における児童の安全確保や健全育成、また、共働き家庭の子育てと仕事の両立支援を図るため、本市では、放課後児童クラブ事め、本市では、放課後児童クラブ事の間、遊びの提供や生活指導等を

放課後児童クラブについては、こか課後児童の手二十五人の児童を受け入れ、懸案の待機児童ゼロを達成け入れ、懸案の待機児童ゼロを達成け入れ、懸案の待機児童ゼロを達成け入れ、懸案の待機児童ゼロを達成け入れ、懸案の待機児童ゼロを達成け入れ、懸案の待機児童ゼロを達成け入れ、懸案の待機児童ゼロを達成け入れ、懸案の待機児童ゼロを達成

いては、今後も現在の朝気児童館に東小学校の放課後児童クラブにつ

的に検計していきます。さらには、移動への安全面など総合おける利用状況、開設場所の利便性、

## 中心市街地の活性化について



政友クラブ **飯島** 

脩

修しました。 「イオンモール高崎」を視察研める「イオンモール高崎」を視察研めために、群馬県高崎市にの推察や、その対抗措置としてのヒの推察や、その対抗措置としてのヒの推察や、その対抗措置としてのヒールができる。

ありました。
二百六十~二百七十億円との説明が約二千五百人、年間売り上げが約
車場三千七百台、そこで働く従業員
車場三千七百台、そこで働く従業員
ホ面積が九万九千九百二十九㎡、駐

また、高崎市と「災害時における協定」を結んでおり、群馬県からる協定」を結んでおり、群馬県からは「人にやさしい福祉のまちづくりは「人にやさしい福祉のまちづくりの目線で考え、工夫し、努力している施設であることが良く理解できるんち。

る影響は必至と思われますが、本市に予定されております。本市に与えこれとほぼ同規模のものが昭和町

【客】本市周辺のショッピングセン対抗策をお聞きかせください。の中心市街地活性化への影響とその

と考えられます。
と考えられます。
と考えられます。
と考えられます。

換も必要だと思います。りとした時間を共有するまちへの転を消費するだけのまちから、ゆった加えて、単にものを購入し、もの



## 中央卸売市場の運営について



新政クラブ **駒木** 

明

【問】本市では、中央卸売市場の建間】本市では、中央卸売市場へと転換を図るために整備計画を策定と転換を図るために整備計画を策定と転換を図るために整備計画を策定と転換を図るために整備計画を策定と転換を図るために整備計画を策定した。

か。温卸売場を整備しているのでしょう温の一つとして、現在、水産低

大きな疑問を感じます。当腐食した箇所がみられ、耐震性に鉄骨でできている建物は、根本に相設して四十年近くが経過しており、

します。

ウスこに、一億円近くの経費を投資しての水産低温卸売場の整備工事を視野は、この場所に新しい中央卸売市場に入れての考え方であるのかお尋ねに入れての考え方であるのかお尋ねが、一億円近くの経費を投

図るものです。 【答】水産低温卸売場については、 消費者の食に対する安全・安心への 意識が高まる中、生鮮食料品の鮮度 に必要な施設として、早急に整備を に必要な施設として、早急に整備を

なお、市場全体の整備については、とお、市場全体の整備の心要性や時期、そして方法の整備の必要性や時期、そして方法の整備の必要性や時期、そして方法がらの国の第九次中央卸売市場整備がらの国の第九次中央卸売市場整備計画に合わせて策定する甲府市市場整備計画の中で明らかにしていては、



## ごみ減量推進についてトイレットペーパーを使った



**野中** 一一

ペーパーなのですが、「しりべんペーものを見つけました。トイレットた際、街頭で配布している面白い【間】過日、大阪府泉佐野市を訪れ

して、 組みが進んでいたり、 知って便利な(しりべん)パー」という名前の付いた バックの商品として、このようなト エコポイントが支給され、ポイント パーの回収が順調な自治会などに、 える商品の提案です。 を創設し、これによって市民の一層 ペーパー かがでしょうか 進をご協力いただくということは ように、より一層市民にごみ減量: 1 対するエコポイントを使用してもら の協力をお願いする」ということに ~ 私が十二月に質問した「ミックス レットペーパーを利用するという ー」という名前の付いた商品 本市独自のエコポイント制 パーという意味だそうです。 回収強化及びごみ減量に対 ミックスペー 減量への取り トイレッ で、

のスーパーマーケットがレジ袋を有のスーパーマーケットがレジ袋を有長の環境施策をお示しください。 長の環境施策をお示しください。 量のための本市の施策に協力していただいた市民に対してポイントを交付し、報奨物品と交換できる制度であり、ごみ減量への有効な動機付けあり、ごみ減量への有効な動機付けるの一つの方法であると考えられま

物品としての利用も含め、どのようしていますが、ご提案の製品の報奨会後、本市でも試行的実施を予定

するか検討していきます。 な方策が市 民の減量意識の 向 上に資

について検討していきます。 を参考に、 度を導入している諸都市での事例等 をお聞きするほか、すでに指定袋制 連合会などあらゆる機関からご意見 る答申内容を踏まえ、市民や自治会 定袋制度については、 大きさや形状、材質など 在 で審議されています指 「甲府市廃棄物減量等 今後提出され

## のセーフティーネット構築について後期高齢者医療制度(長寿医療制度)



崩壊を招く恐れがあります。 にしておけば、 までどおり国民保険制度をそのまま です。少子高齢化社会のなかで、今 心の医療制度を維持するためのもの 供するとともに、将来にわたって安 療制度)は、少子高齢化が進む中 さらにきめ細かいサー 高齢者の方々の医療水準を維持 後期高齢者医療制度(長寿医 保険制度そのものの ビスを提

について本市ではどのように対応し たいとの声を聞きますが、 の周知徹底が不十分で、市民の皆さ 新制度が施行されましたが、 解が得られているとは言いが 周知徹底 制度

> か。 請 てい 体制を構築すべきではないでしょう め細かい相談に応ずることのできる広域連合と密接な連携をとり、き 域連合が行うものですが、「減免申 定められて、 後期高齢者医療広域連合の条例で ま の窓口は各市町村であるため 保険料の減免規定は、 その判断は最終的に広 山梨

載、 答 学習会への出前講座などを通じ、 ンフレットの配布や広報誌への掲 度の趣旨をご理解いただき、 知に努めています。 の皆さんが不安にならないよう、パ 単位老人クラブや自治会単位の 本市では、 後期高齢者医療制 高齢者

場合などに、適用を受ける規定を設 けています。 疾病等により収入が著しく減少した た場合や、被保険者の世帯主が死亡、 となどにより、収入が著しく減少し 例に、事業における損失を受けたこ 山 梨県後期高齢者医療広域連合の条 また、保険料の減免については

談を実施し、 ていきます。 を十分に考慮し、 り り この減免の適否を決定するの ますので、 ますが、本市が、 梨県後期高齢者医療広域連合であ 滞 慎 納理由や生活状況等 重かつ適切に対応し きめ細かな納付相 申請の窓口にな

ますかお伺 17 11 たします。

### 平成20年6月定例会質問要旨

| 渡<br>辺<br>礼<br>子   | 野<br>中<br>一<br>二   | 駒<br>木<br>明                                   | 飯島脩                                     | 原<br>田<br>洋<br>二                                 | 山<br>田<br>厚  | 中山善雄  | 桜<br>井<br>正<br>富                              | 清<br>水<br>保   | 石原希美                                 | 氏名    |
|--|--|---|---|--|--|---|---|---|--------------------------------------|-------|
| 一 公<br>般 質 党<br>問  | 一般質問   | 一般 質問   | 一般 質問                                   | 一般 質問  | 代 表 質 問  | 代 表 質 問   | 代 表 質 問                                       | 代 表 質 問   | 代 表 質 問                              | 所属    |
| <ul><li>ペットボトルキャップ収集の実施について「女性サポート・プラン」についてにおけるセーフティーネット構築について後期高齢者医療制度(長寿医療制度)の本市</li></ul> | 一 甲府市のホームページのあり方について 昇仙峡を活性化することについて トイレットペーパーを使ったごみ減量推進について | 子供たちが夢と希望を持てる施策について  市立図書館について  中央卸売市場の運営について | 一 公立病院改革プラン等について 中心市街地の活性化について 防災対策について | 総合市民会館の施設利用について   遊亀公園への桜の植樹等について   放課後児童クラブについて | 一(公立病院の休診・ベッド削減・経営形態問題について)(とのでは、大変について)(国民健康保険事業特別会計と国民健康保険期高齢者医療制度の問題点について)が、大変には、大変には、大変には、大変には、いいのちと健康を守る公的医療制度に向けて、大変には、いいのちと健康を守る公的医療制度に向けて、 | 一避難所指定校の防災機能の整備について一介護ボランティア制度の導入についてまちづくり寄附条例の導入について | 木造住宅の耐震化対策について  市税の徴収対策について  本市の将来展望と行政運営について | 一 行政改革に伴う事業仕分け制度について  温室効果ガス削減対策について  後期高齢者医療制度について | 雇用について  水道料金の引き下げについて  後期高齢者医療制度について | 質問の要旨 |

持に不可欠な義務教育費国庫負担

度を堅持すること。

教育条件の格差解消を図るた 地方交付税を含む国における

機会均等・水準確保・

無償制の維

義務教育の根幹である、

教育の

教育予算を拡充すること。

必要な対応を行うこと。

界の動向等も考慮し検討を進め

接種のあり方に関して、世

## 係機関へ提出

## (要旨掲載)

## 教育の機会均等 子宮頸がん予防ワクチンに関する意

高まっている。 においても予防ワクチンへの期待は 防可能ながん」ということになる。 ている。つまり、子宮頸がんは 国をはじめ八十カ国以上で承認され 究開発が進み、平成十八年六月に米 死亡率は高いが、その原因のほと クチンが承認されていない。 HPV感染を予防するワクチンの研 んどが、ヒトパピローマウイルス (HPV) による感染である。この しかし、まだ日本ではこの予防ワ 女性のがんである子宮頸 我が国 が h 予

善にとどまった。教育施策を定める われたが、結果は千百九十五人の改

教育振興基本計画」の答申は、

教

善を求め、

さまざまな働きかけが行

する」ことを目的として、三年間で

教員の子供と向き合う時間を拡充

平成二十年度予算概算要求では、

一万千三百六十二人の教職員定数改

及び水準の維持向上を求める意見書

教育予算を拡充し、

要望する。 よって、 次の事項について、 強く

は、 み、予防ワクチンが承認された後 可能ながんであることをかんが 承認に向けた審査を進めること。 の助成を行うこと。 の可能性が高いこと、また、予防 女性の一生においてHPV感染 日本におけるワクチンの開発、 子宮頸がん予防ワクチンの早期 その推進を図るために接種へ

く要望する。

について適切な措置を講ずるよう強

振興基本計画\_

の策定が望まれる。

よって、

国においては、

次の事項

備に関する数値目標を伴った「教育 文科省概算要求の実現と教育条件整 どに対する大きな財政的支援となる 別支援教育の充実、食教育の推進な が進めている少人数教育の推進、特 た財政的計画となっていない。本県 育条件整備に関する数値目標を伴っ

> する教職員定数の改善を図ること。 ために、少人数教育の実現を中心と きめ細かな教育を一層推進する

の責務である。 療の貧困」ともいえる状況に全国 直面している。 地域医療は、住民の生命・健康

政策や財政措置を講ずることを目指 きる医療を地域で受けられるための よって、全国民が安心で信頼ので 医療を守る医療財源の確保を確実 、政府に対し次の事項を要望する。 崩壊の危機に直面している地域

て身近に受けられる地域医療の確 に当たっては、地域住民が安心し 強化すること。 療関係従事者の意見を十分に踏ま 保の観点から、住民・利用者・医 「公立病院改革プラン」の策定

ビスをめぐっては、「医療過疎」や「医 は大きな課題であり、 めとした医療スタッフの不足の解消 医師の不足及び偏在や看護師をはじ きく変化し、地域や診療科における 地域医療を守るための財源確保と人 材確保に向けた支援を求める意見書 我が国の医療を取り巻く環境は大 地域医療サー

医療提供体制を確保することは、 頼の上に地域医療にアクセスできる 共サービスであり、国民が安心と信 直結する不可欠なライフラインの公 玉

の確保と養成のための支援体制を に図ること。 地域医療を担う医師・看護師等

えて策定するよう指導すること。

### 甲府市議会インターネット情報

☆甲府市議会の会議録と議会だよりは、甲府 市のホームページでも見ることができます

URL: http://www.city.kofu.yamanashi.jp

☆議会、議員、議会だより等に関する ご質問はこちらにどうぞ

gikai@city.kofu.yamanashi.jp





### 人事案件

### 請願・陳情審査結果

|   | 番号        | 件名   | 付託委員会 | 結果   |
|---|-----------|--|-------|------|
|   | 19 - 13 号 | 甲府市「郷育の日」制定を求める請願                                  | 民生文教  | 採択   |
|   | 20-1号     | 甲府市「郷育の日」制定を求める請願                                  | "     | "    |
|   | 20 - 3 号  | 教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための<br>請願              | "     | "    |
| 請 | 20 - 5 号  | 子宮頸がん予防ワクチンに関する請願                                  | "     | "    |
|   | 20 - 7 号  | 地域医療を守るための財源確保と人材確保に向けた支援を求める請願                    | "     | "    |
| 願 | 19 — 3 号  | 一学級の定数を 30 人とすることを求める意見書を県に提出を要望す<br>る請願           | "     | 継続審査 |
|   | 19 - 5 号  | 保険業法の制度と運用を見直し、自主的な共済の保険業法の適用除外<br>を求める意見書提出を求める請願 | 総務    | "    |
|   | 20 - 4 号  | 後期高齢者医療制度の廃止を求める請願                                 | 民生文教  | "    |
|   | 20 - 6 号  | 長寿医療制度(後期高齢者医療制度)の運用の改善を求める意見書の<br>提出を求める請願        | ″     | "    |
|   | 20-1号     | 地方切り捨てを許さず、事務所・出張所の存続に関する意見書の提出<br>を求める陳情          | 経済建設  | 不採択  |
| 情 | 19-1号     | 医師確保対策の強化を求める陳情                                    | 民生文教  | 継続審査 |
|   | 19-2号     | 看護師の増員と看護師確保対策の強化を求める陳情                            | "     | "    |
|   | 19 - 3 号  | 深刻な医師不足を打開するための法律の制定を求める陳情                         | ″     | "    |
|   | 19 - 4 号  | 「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正を求める陳情                      | "     | "    |

次のとおり、当選されました。
議会議員補欠議員選挙

☆門のとおり、決定されました。○人権擁護委員候補者の推薦

⇒ 金丸 三郎おり、同意されました。中込孝文氏の辞職に伴い、次のと○議会選出監査委員



⇒ 宇野 善昌おり、同意されました。 首藤祐司氏の退職に伴い、次のと○副市長の選任

### 市勝会勝員の寄附は禁止! 有権者の寄附要求も禁止!

### 公職選挙法では、次のようなことが禁止されています

- ○議員や後援会が、寄附をしたり有料のあいさつ広告を出すこと
- ○議員や後援会が、お中元やお歳暮を贈ること

顕 一正 厚司泉仁二富

- ○議員が年賀状や暑中見舞いなどのあいさつ状を出すこと (自筆の答礼は除く)
- ○市民や団体が、議員に寄附などを求めること

市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします



秋山 雅司とおり、推薦することに決しました。 選任委員の任期満了に伴い、次の

農業委員会委員の推薦

### 平成20年6月甲府市議会定例会審議結果

| 番号       | 件名   | 付託委員会 | 議決月日   | 結 果             |
|----------|--|-------|--------|-----------------|
| 議 案 第41号 | 専決処分について<br>(平成19年度甲府市一般会計補正予算(第7号))         | 総務    | 6 月18日 | 承 認             |
| 議 案 第42号 | 専決処分について<br>(損害賠償事件に関する和解及び損害賠償の額の決定について)    | 民生文教  | "      | "               |
| 議 案 第43号 | 専決処分について<br>(平成20年度甲府市一般会計補正予算(第1号))         | "     | "      | "               |
| 議 案 第44号 | 専決処分について<br>(甲府市市税条例の一部を改正する条例制定について)        | 総 務   | "      | "               |
| 議 案 第45号 | 専決処分について<br>(平成20年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)) | 民生文教  | "      | "               |
| 議 案 第46号 | 専決処分について<br>(平成20年度甲府市老人保健事業特別会計補正予算(第1号))   | "     | "      | "               |
| 議 案 第47号 | 平成20年度甲府市一般会計補正予算(第2号)                       | 分 割   | "      | 原案可決            |
| 議 案 第48号 | 平成20年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第 1 号)               | 民生文教  | "      | "               |
| 議 案 第49号 | 平成20年度甲府市簡易水道等事業特別会計補正予算(第 1 号)              | "     | "      | "               |
| 議 案 第50号 | 甲府市営バス条例を廃止する条例制定について                        | 総務    | "      | "               |
| 議 案 第51号 | 甲府市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定<br>について         | "     | "      | "               |
| 議 案 第52号 | 甲府市市民いこいの里条例の一部を改正する条例制定について                 | 経済建設  | "      | "               |
| 議 案 第53号 | 甲府市市営住宅条例の一部を改正する条例制定について                    | "     | "      | "               |
| 議 案 第54号 | 甲府市上九一色定住促進住宅条例の一部を改正する条例制定に<br>ついて          | "     | "      | "               |
| 議 案 第55号 | 甲府市土地開発公社定款の変更について                           | "     | "      | "               |
| 議案第56号   | 市道路線の認定について(荒川線)                             | "     | "      | "               |
| 議 案 第57号 | 訴えの提起について                                    | "     | "      | "               |
| 議案第58号   | 工事請負契約の締結について                                | 民生文教  | "      | "               |
| 議 案 第59号 | 工事請負契約の締結について                                | "     | "      | "               |
| 議 案 第60号 | 工事請負契約の締結について                                | "     | "      | "               |
| 議案第61号   | 工事請負契約の変更契約の締結について                           | 経済建設  | "      | "               |
| 議 案 第62号 | 副市長の選任について                                   | 総務    | "      | 同 意             |
| 議 案 第63号 | 監査委員の選任について                                  |       | "      | "               |
| 諮問第2号    | 人権擁護委員候補者の推薦について                             | 総 務   | "      | 諮問のと<br>おり決定    |
| 甲議第3号    | 教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を求め<br>る意見書提出について   |       | "      | 原案可決            |
| 甲議第4号    | 子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書提出について                     |       | "      | "               |
| 甲議第5号    | 地域医療を守るための財源確保と人材確保に向けた支援を求め<br>る意見書提出について   |       | "      | "               |
| 日程追加     | 議長選挙について                                     |       | "      | 第90代<br>議長当選    |
| 日程追加     | 副議長選挙について                                    |       | "      | 第100代<br>副議長当選  |
| 甲議第6号    | 常任委員会委員の選任について                               |       | "      | 選 任<br>(P12参照)  |
| 甲議第7号    | 議会運営委員会委員の選任について                             |       | "      | 選 任<br>(P11参照)  |
| 日程追加     | 甲府地区広域行政事務組合議会議員の補欠議員の選挙について                 |       | "      | 当 選<br>(P9参照)   |
| 甲推第1号    | 農業委員会委員の推薦について                               |       | "      | 推 薦<br>(P 9 参照) |

本市

と友好都

国 が あ 市当局とともに見舞金を送りま 府 性となりました。 る成都市の復興に役立てるた 市 議 会では、

成都 市

成二十年五月十二日に発生した 四川大地震では、 多くの尊

見舞金を送りまし た

議員表彰おめでとう市議会議員二十五年

在

力された功績が認められ、 議長会定期総会及び第二百三十九回 山梨県市議会議長会定期総会におい このたび、 た各氏は、 市議会議員として二十五年在職 第八十四回 地方自治の振興に尽 全国 表彰を受 市議会



ました。





斉 森 藤 沢 憲 幸 夫

石山兵駒原田道木

依  $\mathbf{H}$ 敏 夫

委

員 長 新 し い 議 会 構 成

議会運営委員会 定数 12 人 現員 12 人

> 委 員 長 副委員長 委 員

柳沢 暢幸 清水 仁

憲二 谷川 義孝 斉藤 荻原 隆宏 池谷 陸雄 依田 敏夫 駒木 明 中山 善雄 内藤 泉 厚 剛 田山 石原

常任委員会 (委員名は P12 参照)

総務委員会 定数8人 現員8人

次の部・室等に属する事項を審査します

(1)市長室・(2)総務部・(3)企画部・(4)市民生活部 (国民健康保険に関するも のを除く。)・(5)税務部・(6)会計室・(7)議会事務局・(8)公平委員会・(9)選挙 管理委員会・100監査委員の所管に属する事項、(11)他の常任委員会の所管に 属しない事項

### 民生文教委員会 定数8人 現員8人

次の部・室等に属する事項を審査します

(1)市民生活部のうち国民健康保険に関するもの、(2)福祉部・(3)市立甲府病 院・(4)教育委員会の所管に属する事項

経済建設委員会 定数8人 現員8人

次の部・室等に属する事項を審査します

(1)産業部・(2)都市建設部・(3)農業委員会の所管に属する事項

環境水道委員会 定数8人 現員8人

次の部・室等に属する事項を審査します

(1)環境部・(2)上下水道局の所管に属する事項

市議会だより 編集委員

を編集していきます。 .編集委員により「市議会だより 六月定例会が終わり、 私たち新

清 中水 込 希 顕 隆美厚司明宏

副委員長

員



平成十九年度決算審査特別委員会が 九月の予 することができます。 ある議員の活動や審議状況等を傍聴 定例会におい 定です。 て、 この 皆さんの代表で 次の定例会は 会期中に、

予定されています。)

議会を傍聴してみませ  $\bar{\lambda}$ 

か

### 民生文教委員会



副委員長 田中 良彦 新政クラブ



委員長 渡辺 礼子 公明党



鈴木 政友クラブ

委員

石原 希美

日本共産党



委員 飯島 政友クラブ

委員

市民クラブ

山田



委員 廣瀬 集一



政友クラブ



委員 金丸 三郎 新政クラブ

### 総務委員会



副委員長 清水 仁 新政クラブ



委員長 佐藤 茂樹 政友クラブ



委員 依田 敏夫 新政クラブ



谷川 義孝 政友クラブ



委員 斉藤 憲二 政友クラブ



委員 石原 日本共産党



委員 秋山 雅司 公明党



委員 駒木 新政クラブ

### 環境水道委員会



副委員長 池谷 陸雄 政友クラブ



委員長 輿石 新政クラブ



経済建設委員会

副委員長 内藤 公明党



委員長 荻原 隆宏 政友クラブ



委員 上田 英文 新政クラブ



委員 清水 政友クラブ



委員 森沢 幸夫 政友クラブ



大塚 義久 政友クラブ



原田 洋二 政友クラブ



柳沢 暢幸 政友クラブ



委員 兵道 顕司 公明党



中山 善雄 公明党



小野 雄造 新政クラブ



中込 孝文 市民クラブ



野中 一二 新政クラブ



桜井 正富 新政クラブ